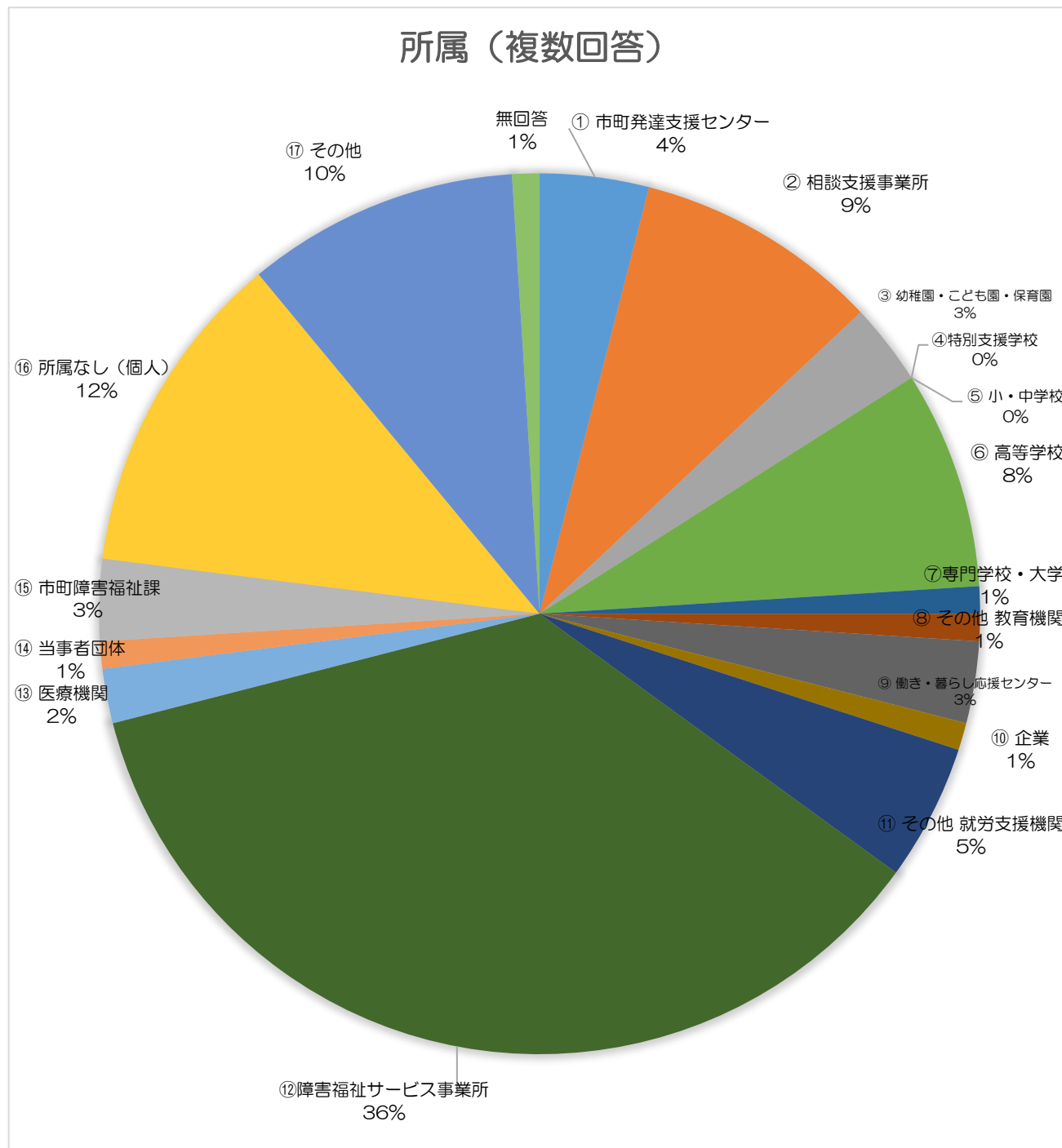
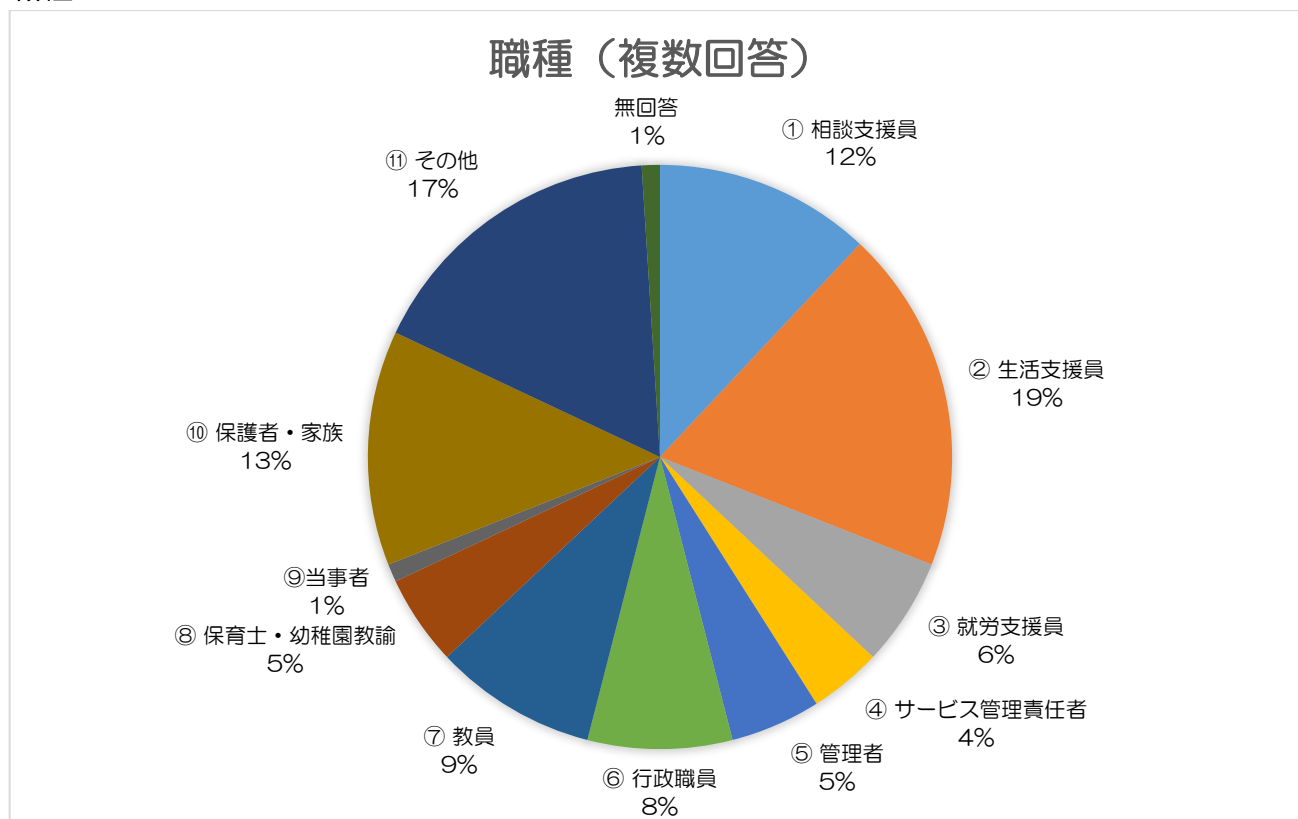


アンケート回答率：48%

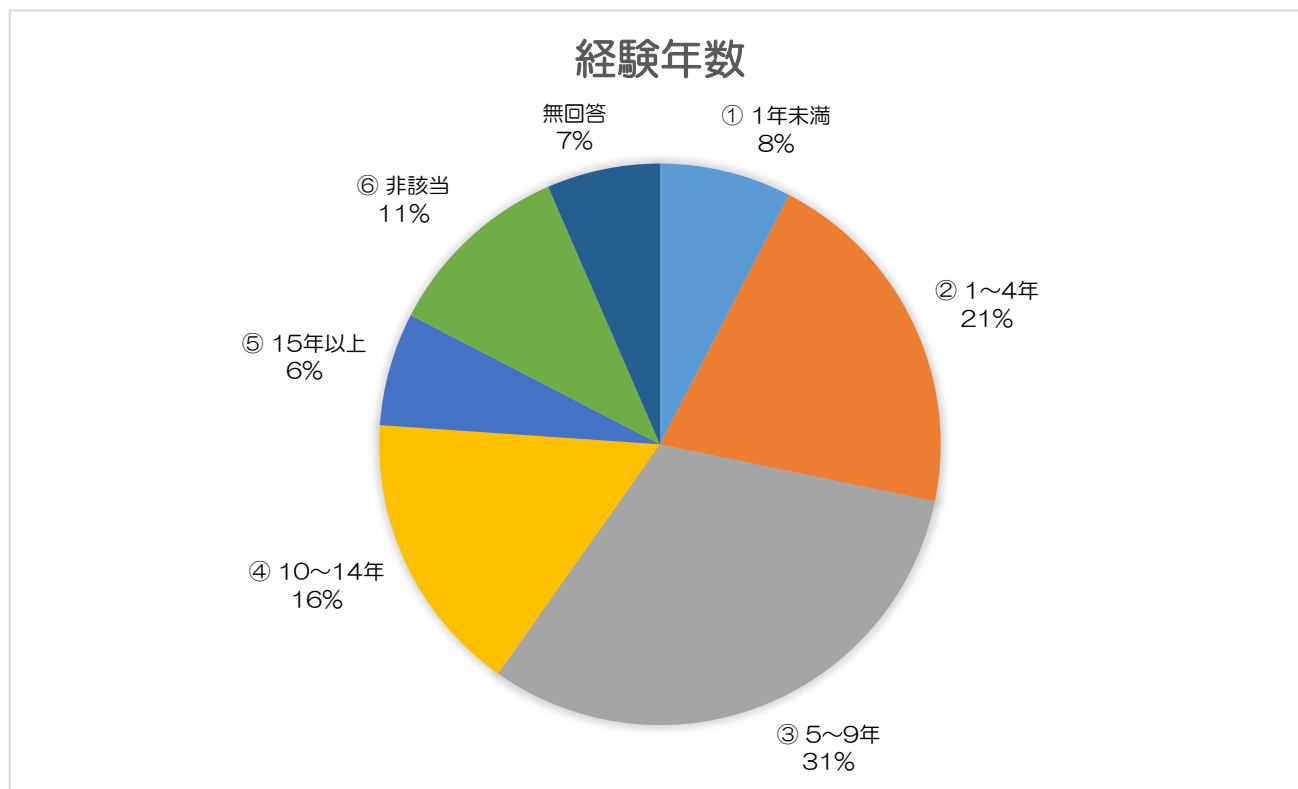
所属について



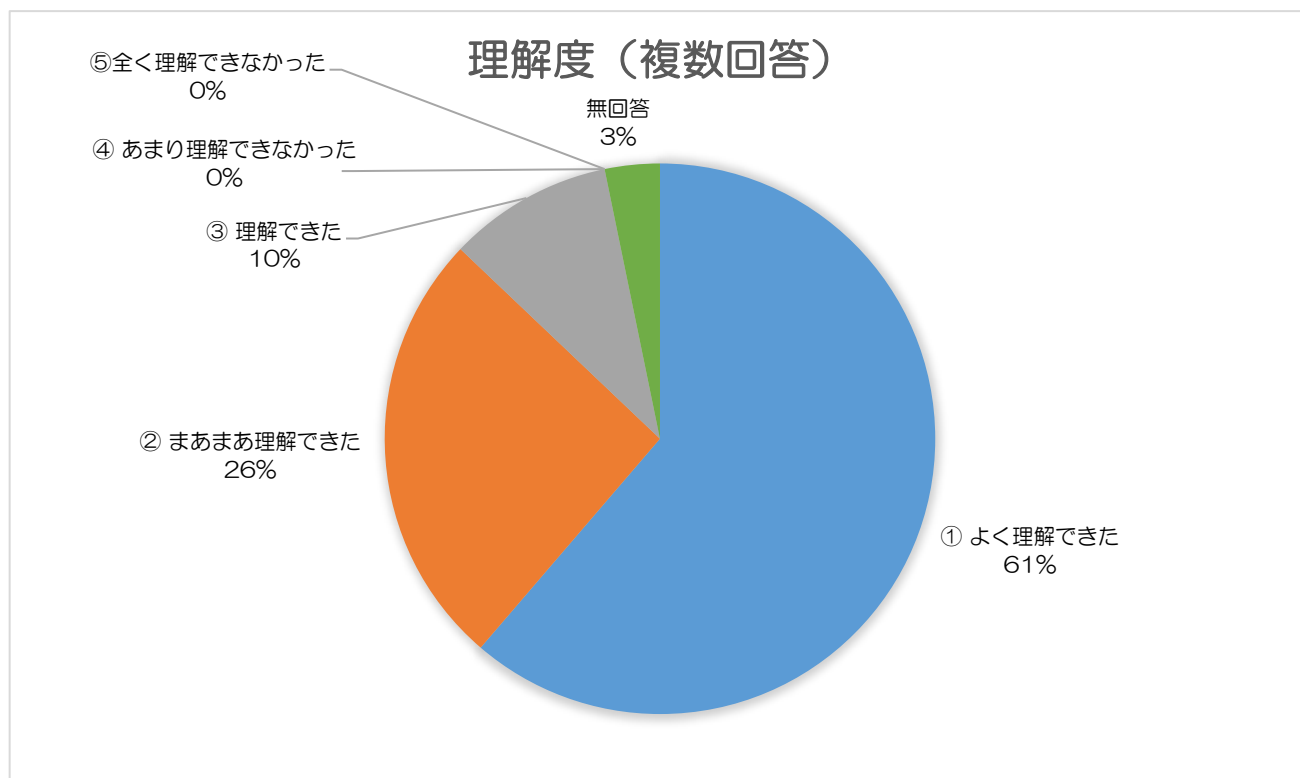
職種について



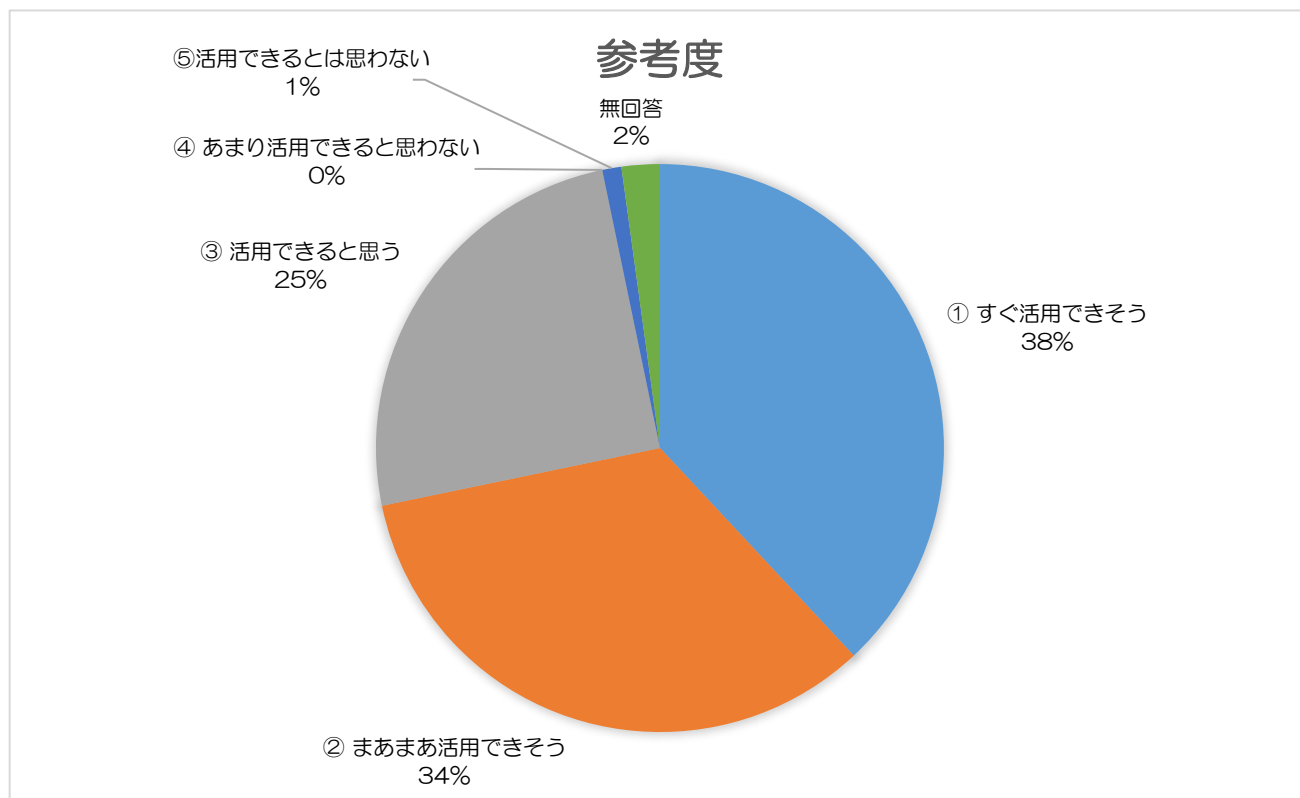
支援経験年数について



本日の講演について
理解度



参考度



【講演全体を通して】

- ・ 具体的事例を提示しながらの説明だったので、より理解できました。
- ・ エッセンスを平易な表現で、わかりやすく教示いただけて、ありがたかったです。
- ・ 支援する人の心もよう、支援される人の心もよう、両方の伝わるお話をありがとうございました。
- ・ 幼児期からの継続的な、細かな支援の必要性がよくわかりました。
- ・ 1人の支援をすることは、子育ての段階から医療、就労と様々な分野、タイミングで介入することで成立することが改めてわかりました。
- ・ 現在いきづまっている支援についても、今一度ケースを振り返ってみたいと思いました。
- ・ 発達障害の具体的な様子や支援事例を取り上げてくださり、日頃の自身の支援を考えるのに役立ちました。
- ・ もっと地域の動き、制度を知る必要があると感じました。
- ・ 残念なことに刑務所においては必要な支援が受けられず、入所している者が多いです。そういう受刑者たちへの支援について協力を頂ければと思いました。

【第1部 医療について】

- ・ 医療分野の話は難しいかもしれないと思っていましたが、とてもわかりやすかったです。
- ・ 具体的な事例を紹介してくださり、多角的な視点で考えられました。
- ・ たとえ話をまじえながらだったのでわかりやすくよかったです。どのようにして本人から内にある思いをきいていけばよいか参考になりました。
- ・ 臨床現場でのやりとりなどもお話ししてくださったので、とてもわかりやすく、ご本人の困り感について思いをはせることができました。面談にも生かしていきたいです。
- ・ 治療の中で、どのようにされているのかを具体的に話をお聞きすることができてよかったです。
- ・ 思春期の課題と発達障害の特性を背景として生じる課題について、非常にわかりやすい説明でとても参考になりました。
- ・ 医療からの視点の話は、発達障害に限らず参考になりました。
- ・ 医療、精神分野から障害を捉えられることで、また新しい視点で障害理解や利用者を見つめることができたように思います。
- ・ 「目標が変わると出来る感じが変わる」というのはすごく納得でき、できるだけ「できた！」と思える経験を増やせるようにと思いました。

【第2部 就労支援について】

- ・ 笑えたり涙が出そうになったり、ずっと聞きはいつてしまう、深く、素晴らしい内容でした。
- ・ 支援者のあり方や必要性を感じると共に、1人1人の人生に関わる大切さを学ぶことができました。
- ・ 働き・暮らし応援センターの方のお仕事内容の詳細について、今日初めて知りました。
- ・ 発達支援室や働き・暮らし応援センターの話聞くことで、相談職の仕事内容に具体性を持つことができました。
- ・ 幼児期からの一貫した支援があとあとの支援をスムーズにすることも再確認できました。

- 就労支援は、幼児の時にはあまり関係がないのではないかと思っていましたが、幼児の頃の支援と無関係ではないのだと話を聞いて思いました。ついつい目の前の就学だけに気を取られがちですが、人生の一步の大切な時期に関わらせてもらっているということを心において、次につないでいきたいです。
- 学齢期に本人や保護者が障害と上手く付き合う方法を身に付けられることは、大人になった時の生き方に大きく影響すると感じました。
- 仕事をして、休日には楽しみをもって自分らしい人生を作っていくというのは誰にでも当てはまることで、そういう視点を忘れてはいけないなと思いました。